

参 考 资 料

(1) 沿 革

昭和22年林政統一による機構改革にともない、林業試験研究機関を整備することになり、同年4月大阪営林局内の試験調査部門を編成がえのうえ農林省林業試験場大阪支場として局内に併置された。

関 西 支 場

- 昭和25. 4 大阪支場京都分室設置さる
- 昭和27. 7 京都分室を廃止し、そのあとに支場を移転し京都支場と名称を改む
- 昭和28. 2 新たに伏見区桃山町に支場庁舎敷地として12haを決め、同時に桃山研究室を設置した
- 昭和31. 3 庁舎、研究室を新築、移転
- 昭和34. 7 関西支場と名称を改む
- 昭和38. 4 調査室設置
- 昭和40. 3 研究室等を増改築
- 昭和41. 4 部制設置（育林、保護の2部）
- 〃 防災研究室を岡山試験地から移設

岡 山 試 験 地

- 昭和10. 8 岡山県上道郡高島村に水源函養試験地として設置
- 昭和13. 1 林業試験場高島試験地と名称を改む
- 昭和22. 4 林業試験場大阪支場の所管となり、同支場高島分場と名称を改む
- 昭和27. 7 林業試験場京都支場高島分場と名称を改む
- 昭和34. 7 林業試験場関西支場岡山分場と名称を改む
- 昭和41. 4 林業試験場関西支場岡山試験地と名称を改む

(2) 土 地 お よ び 施 設

1. 土 地

1. 庁 舎 敷 地

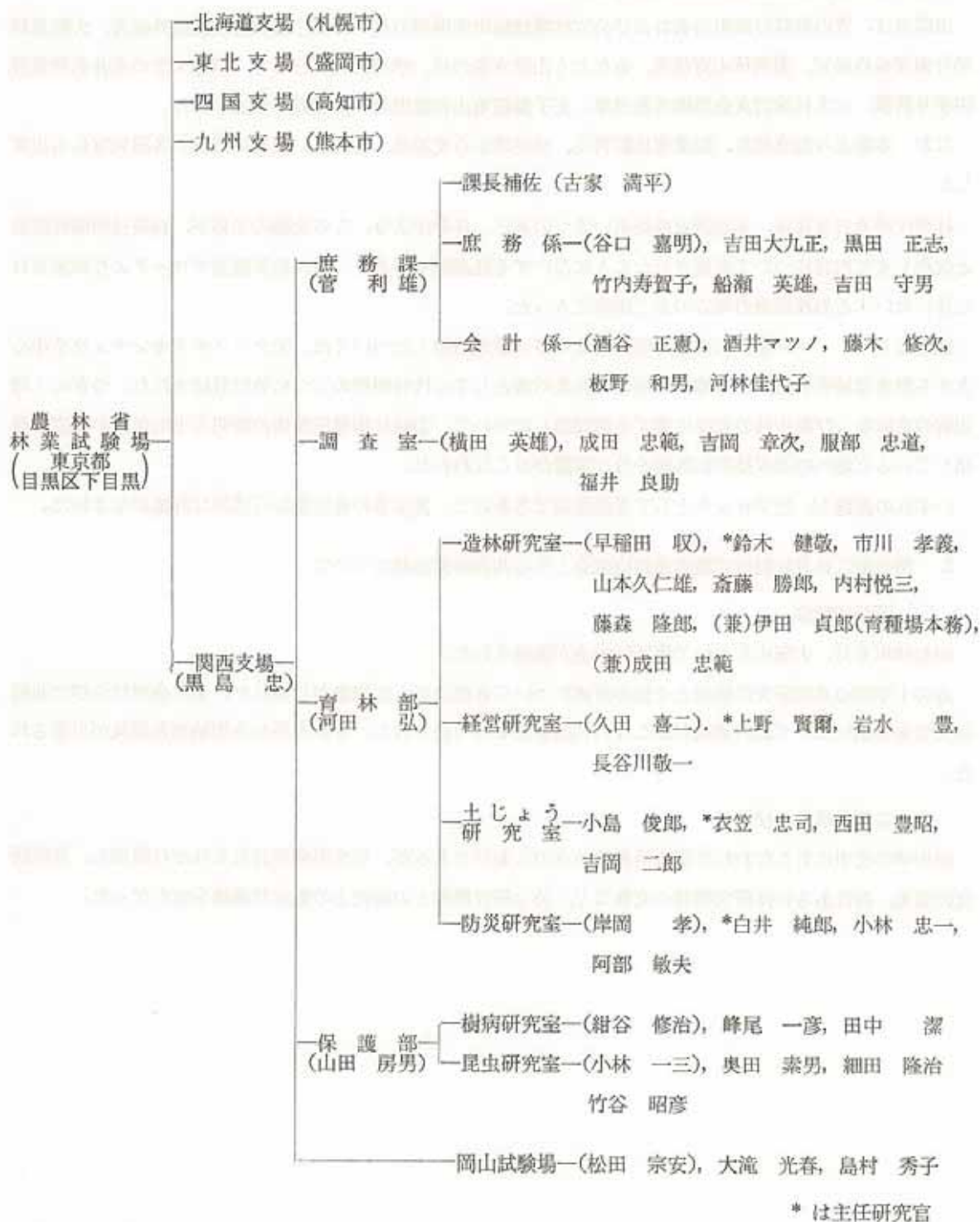
	関 西 支 場	岡山試験地
庁舎および付属敷	11,539㎡	1,999㎡
苗 畑	13,270	4,264
樹 木 園	7,862	
見本林、実験林	27,998	64,817
計	60,669	71,080
2. 宿 舎 敷 地	9,373	916
3. 島 津 試 験 林	7,045	—
4. 宇 治 見 試 験 林	3,812	—
計	80,899	71,996

2. 主 な 施 設

庁舎および研究室	4 棟	1,582.0	1 棟	346.5
温 室	1 //	54.5		0
ガ ラ ス 室	1 //	61.6		0
隔 離 温 室	1 //	51.3		0
殺 菌 培 養 室	1 //	48.6		0
樹病低温実験室	1 //	91.0		0
昆 虫 飼 育 室	1 //	105.8		0
林木水耕実験室	1 //	26.0		0
宿 舎	25 //	1,254.4	2 //	196.6

(3) 組 織

(昭和48年11月1日現在)



(4) 会 議 の 開 催

1. 昭和48年度(第1回)林業技術開発推進近畿・中国ブロック協議会

昭和48年11月27日当支場会議室で開催された。

出席者は、管内府県行政担当者および公立林業試験研究機関の長、林野庁研究普及課長外係官、大阪営林局計画課長外係官、関西林木育種場、おなじく山陰支場の長、学術経験者として、京都大学の赤井名誉教授、四手井教授、日本林業同友会馬岡専務理事、王子製紙亀山育種場の和田場長が参加された。

なお、本場より調査部長、保護部鳥獣科長、当支場から支場長、各部長、調査室長ほか各研究室長も出席した。

林野庁研究普及課長、本場調査部長あいさつのあと、林野庁より、この会議の名称が、林業技術開発推進と改称した内容について変更されたことにたいする経過説明があり、また前年度当ブロックより提案された件にたいする処理経過の報告のあと議事に入った。

議題として、「マツ類の枯損と防除対策ならびに跡地対策」については、①マツノザイセンチュウを中心とする激害型被害の防除法の確立②跡地の施業対策としての代替樹種の二つに分け討議された。つぎに「緑化樹の育成および都市林の造成に関する諸問題」について、①緑化樹養成技術の解明②土地条件の極度に悪化している立地への造成技術に課題を分け論議がおこなわれた。

いずれの課題も、当ブロックとして重要課題であるので、参加者の各立場から活発な討議がなされた。

2. 関西地区林業試験研究機関連絡協議会とその共同研究活動について

○ 第26回総会

昭和48年6月、大阪市において第26回総会が開催された。

過去1年間の共同研究の経過と今後の計画について各部会ごとに協議が行われた。また会則ならびに共同研究実施要領について改訂審議がおこなわれ原案どおり可決された。なお本場から加納調査部長が出席された。

○ 各部会活動の状況

昭和48年度中におこなわれた部会活動はつぎのとおりであるが、当支場研究員もそれぞれ参加し、共同研究の実施、助言あるいは研究情報の交換など、公立研究機関との研究上の緊密な連絡をおこなった。

部 会 名 (研究班名)	開 催 期 日	開 催 場 所	当 番 機 関
育 林 (ア カ マ ツ)	48. 4. 26~27	高松市	香川林指
経 営	48. 7. 27~28	奈良市	奈良林指
立 地	48. 7. 31~8. 1	当支場	当 支 場
保 護 (マ ツ ク イ ム シ)	48. 8. 28	〃	〃
育 苗	48. 9. 12~13	滋賀県近江八幡市	滋賀県森林センター
樹木公害	48. 9. 20~21	兵庫県新宮町	兵庫林試
林業機械	48. 10. 16~18	石川県鶴来町	石川林試
特 産 (シ イ タ ケ)	48. 11. 7~ 8	大津市	滋賀県森林センター
育 種	49. 2. 5~ 6	山口市	山口林試
更 新	49. 1. 29~31	当支場	当 支 場
特 産 (マ ツ タ ケ)	49. 2. 18	〃	〃
特 産 (ク リ)	49. 3. 7~ 8	広島県三次市	広島林試

(5) 受託研究, 調査, 指導

用 務	委 託 者	用 務 先	実施期日	出 張 者	
				研 究 室	氏 名
森林土壌の調査方法および実務 土壌図作成の講習	京 都 府	京 都 府	48. 7. 2~7. 7	土じょう	小島 俊郎 吉岡 二郎
枝打ちに関する試験指導および 研修会講師	岩 手 県	岩 手 県	7. 23~29	造 林	早稲田 収
林業構造改善コンサルタント	全国林業構造改善 協議会	山 口 県	11. 4~8	経 営	久田 喜二
林業経営に関する研修指導	新城地方林業振興 会	愛 知 県	49. 2. 6~7	〃	岩水 豊
優良材磨丸太の生産技術および 流通に関する研修指導	岐阜県森林組合	岐 阜 県	2. 21~22	〃	〃
竹林経営調査	三重県林業技術普 及センター	三 重 県	2. 12~13	造 林	鈴木 健敬
風致林施業についての調査	森林経営研究所	広 島 県	2. 14~18	〃	早稲田 収
〃	〃	〃	2. 12~16	土じょう	小島 俊郎
ナメコ鋸屑栽培における害菌防 除試験の指導	兵庫県立林業試験 場	兵 庫 県	2. 25~27	樹 病	紺谷 修治
林業経営のための研修指導	三重県林業技術普 及センター	三 重 県	3. 12~13	経 営	岩水 豊

(6) 研修, 海外出張関係

技術研修受入れ

氏 名	所 属 機 関	研 修 期 間	研 修 内 容
和 田 信 雄	滋賀県森林センター	48. 4. 12～7. 11	樹木の病害診断および防除に関する研修
松 田 弘	富山県砺波農地林務事務所	48. 5. 25～8. 24	主要森林病虫害の早期発見法 主要森林病虫害の防除診断法
政 広 光 登	広島県立林業試験場	48. 7. 1～12. 31	農家林業における拡大造林の発展について
山 根 功	島根県農林水産部	48. 9. 1～49. 2. 28	森林組合の労務問題

会場職員研修

氏 名	研 修 先	研 修 期	研 修 内 容
内 村 悦 三	本 場	48. 5. 2	研究職新任者研修
菅 利 雄	農 林 研 修 所	49. 1. 16～1. 19	管理事務担当者研修

海外出張

氏 名	出 張 先	出 張 期 間	研 究 内 容
小 林 一 三	マ レ イ シ ア	48. 3. 15～48. 9. 14	林木種子の害虫に関する生態学的研究

(7) 見 学 者

区 分	件 数	人 数	備 考
国	51	107	
府 県	27	393	
学 校	1	19	
大 学	2	51	
高 中 学 校	3	221	
小 学 校	2	23	
団 体	5	5	
森 林 組 合	11	31	
そ の 他	4	16	ブータン国, アメリカ, 韓国, 外
一 般			
外 人			
計	106	866	

48年4月1日～49年3月31日

(8) 人のうごき

48. 4. 1 付

四 国 支 場 長	育 林 部 長	森 下 義 郎
育 林 部 長	土じょう研究室長	河 田 弘
土じょう研究室長	土 じ ょ う 部	小 島 俊 郎

48. 6. 1 付

庶 務 課 庶 務 係	採 用	竹 内 寿 賀 子
-------------	-----	-----------

48. 8. 16 付

総務部会計課経理係長	庶 務 係 長	高 橋 忠 雄
庶 務 課 庶 務 係 長	四 国 支 場	谷 口 嘉 明

48. 4. 1 付

主 任 研 究 官	土じょう研究室	衣 笠 忠 司
-----------	---------	---------